

中国地方都市における老親扶養をめぐるきょうだい間の「せめぎあい」

—きょうだいを持つ経済的に安定している中年男性の語りより—

○李 しゅ (中央大学文学研究科)

本研究では、中国地方都市に在住する、きょうだいを持つ経済的に安定している中年男性に注目し、老親扶養問題をめぐってきょうだい間にどのような「せめぎあい」が生じるのかを事例研究より明らかにした。その結果、中年世代の男性かつ長男が老親扶養を担うことに対する周囲からの期待が根強くあるという知見が得られた。しかし、「息子による老親扶養」という一方的な期待があるとはいえ、その期待に応えられない場合、部分的・順番的に親を扶養するか、娘および次男・三男が長男の代わりに老親扶養を担わざるを得なくなる。その際に、「息子と娘による老親扶養の非対称性」があることが確認された。

従来の研究では、一つ目は、家族構造の変容および扶養規範の変容からを考察されることが多かった。費の「フィードバック式」(費 1983,1985)に関する議論を出発点として、伝統的な家族による扶養規範が弱体化し、中国の都市化と近代化、一人っ子政策および核家族化の進展に伴い、老親扶養が「フィードバック式」(費 1983,1985)から「リレー式」(郭 2001;王 2008;陳 2009;賀 2008,2009)へと移行しつつあることが先行研究ではしばしば指摘された。しかしながら、その多くは「豊かな大都市」ないし「貧しい農村」という二元論を前提としており、中間にある「地方都市」等に関する研究は極めて少ない。近年、一部の研究者は新たに都市化水準の高い農村地域にも焦点を当てたが(施 2018:32)、都市化水準の低い地方都市については十分に検討されてこなかった。二つ目は、従来の老親扶養研究は、主に社会保障制度および政策面の研究であるか(岡田 1991;陳 2012;張・陳 2014;林・鄭 2018;郭 2014)、意識研究(張・浅野 1997;包・浅野 2001;劉・長弘ほか 2005;韓 2009)や老親扶養関係の変容(孫 2014:53-59;劉 2012:62-66)であるかがほとんどである。現行の高齢者福祉対策は富裕層と貧困層の高齢者に向けて打ち出されているものの、中間層の高齢者の老後生活や介護について確保されていない。とりわけ、中国政府は格差の急拡大の中で「貧困な農村地域の福祉問題」を優先したため(郭 2014:17)、中間層もしくは中間地域における高齢者問題があまり捉えられてこなかった。三つ目は、老親扶養研究の中に、夫婦関係(王・海 2019)および息子と娘の比較(伍 2018、楊 2013)等ジェンダー差に注目している先行研究が多いが、ジェンダー規範の影響のみならず、子どもと親との物理的距離や、きょうだい間格差・世代間格差が激動する地方都市における老親扶養関係や世代間関係をいかに変容させているのかを考察する必要がある。

そのため、本研究では、従来のジェンダーの観点から考察されてきた研究(唐ほか 2009;楊 2013;伍 2018;王・海 2019)を出発点として、世代間格差ときょうだい間格差を分析枠組みに入れて、老親扶養問題を中心に考察する。中年世代がいかなるケア責任を期待されているのか、中年男性と中年女性が異なるケア責任を期待されているのか、また、その期待に応える時に周囲からいかなる評価をされるのかを明らかにしたい。

本研究は、2017年8月から2021年11月にかけて、半構造化インタビューを中心に調査を行ってきた。調査の結果、中国地方都市には、依然として「息子および長男による老親扶養」という期待が根強くあるという知見が得られた。しかし、親が経済的に自立できており、長男も経済的に自立できており、ほかの子どもが経済的に余裕がない場合には、「長男ではなく、ほかの子どもと同居する」こともある。言わば、「経済的に余裕がある親は子どもと同居して、子どもを支援する」という「家族の再分配機能」を果たしていることになる。また、親も子どもも経済的に余裕がない場合、娘は息子より「経済的扶養」から免除されやすい。しかしながら、「身体的扶養」と「心理的扶養」については、担わざるを得なくなる。また、「息子による老親扶養」という一方的な期待があるとはいえ、「嫁姑問題」、「子ども優先」、「近居ではない」などの現実によって、うまく応えられない場合もある。その際に、部分的・順番的に親を扶養するか、ほかのきょうだいが長男の代わりに老親扶養を担わざるを得なくなる。その際に、「息子と娘による老親扶養の非対称性」があることが確認された。

しかし、本稿の対象者となる中年男性全員が当事者や配偶者は経済的に安定しているおり、限られたケースを中心に上げたため、中年女性と中年男性の比較は十分にできなかった。今後に残された課題としては、調査の対象と範囲を広げて対比的に検討を進める必要があることが挙げられる。

キーワード：中国地方都市、老親扶養、きょうだい間格差